

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2025年4月27日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃美歌56「七日の旅路」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	讃美歌272「ナザレの伏屋に」	一 同
教会学校	「明るる日のちい口バ」	牧 師
讃 美	讃美歌532「一度は死にし身も」	一 同
聖書朗読	創世記50:1-3	
奨 励	創世記の福音(最終回)	牧 師
主 題	「ヨセフの涙」	
讃 美	讃美歌320「主よ、御元に」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃美歌546「聖なるかな」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	使徒行伝 16:11-15	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



【今週の歩み】

4/27(日) 聖日礼拝
/28(月)
/29(火) 昭和の日
/30(水)
5/1(木) 10:00 聖研
/2(金) 10-12: OBSカフェ
/3(土) 13-16 子供オプンハウス



【祈りの課題】

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「感動できますか」

長岡由美子(美術史研究家)(河北新報4月8日夕刊より)

子供の入学、夫の単身赴任、独りの子育て、職場の業務の増加。博物館の仕事辞めたきっかけはいくつもあります。国家公務員として身分も保障され、専門家として重宝がられ、なにより好きな道で職を得たのですから、辞めると言った時、本気になる同僚はいませんでした。

大学で美術を専攻したところ、それまで知らなかった東洋の古美術にどっぷりと浸りました。アルバイトをして小遣いをため、毎月のように夜汽車で関西へ行き、周遊切符の期限が切れるまで京都、奈良の寺社巡りをしました。一日にいくつもの美術館、博物館をはしごし、あるいは同じ作品を何日も見続けることもありました。欧州諸国や台湾などへも作品調査に行きました。体力と気力の充実していた二十代は、そんな毎日でした。友人からは、何と優雅な、と言われましたが、観光とは違います。ルーブル美術館でも大英博物館でも、職員と同じ通用口からの入館で、絵葉書で見えるような正面玄関の記憶はありません。それでも美しい作品に出会う楽しさは何にも替え難いものでした。

上野の国立博物館に勤めた当初、歴史ある重厚な建物や迷路のような地下道、樹海と見まごう裏庭、いくつもの体育館を合わせたような広い展示場に、初々しく戸惑いました。時間を見つけて展示場の作品を見られるのは、実にウキウキした気分でした。

やがて慣れてくると、作品の購入、修理、展示会の開催などに、何億円もの予算が当たり前に使われることに驚嘆しました。作品を見ては痛んだ箇所やその修理方法、展示場では温湿度の調整、ディスプレイの善し悪し、解説の内容など、作品の本質的価値とは無縁のところ気がなりました。たくさん作品を見て本物か贋物(カゲツツ)か、制作時期はいつかなど、いらざる目の肥えたことも確かです。でも、つまらない。どんな作品を見ても、我が子のいたずら書きほどには感動しなくなった自分に気がつきました。いつしか心の目は痩せ細っていました。

美しい作品に心から感動できる自分でありたい。たぶん、博物館を辞めようと思った一番大きな理由はそこにあるような気がしています。